

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）総括表

資料2

◆取組みテーマ別取組状況

取組みテーマ	重点取組項目数	主な取組内容
1 見守りの仕組みづくり	8	区内29の町内自治会において、訪問や防犯パトロール等を兼ねたさりげない見守り活動に取り組んだ。 また、地区部会主催のいきいきサロンやふれあい食事サービス等の活動を通じて、高齢者の見守り活動を行った。
2 高齢者を支える仕組みづくり	4	区内11地区部会において、区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー等の関係団体と連携し、計90か所できいきサロンが開催され、地域内での交流や介護予防に取り組んだ。 また、29町内自治会での見守り活動や2か所での支え合い活動、高齢者施設と連携して買い物支援を行うなど、高齢者の生活支援に取り組んだ。
3 障害者を支える仕組みづくり	3	区内の1地区部会で例年継続的に障害児者団体との交流会を行っている。 また、2地区部会の災害時避難所開設訓練において、障害を持つ住民の避難について計画上に盛り込むなど、障害者を支える仕組みづくりに取り組んだ。
4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり	3	区内11地区部会において、区健康課や子育て支援団体と連携し、計17か所の子育てサロンが開催され、子育て中の親同士の交流などに取り組んだ。 また、子育てサロンの情報は、子育て支援団体の発行する冊子に掲載するなど、情報提供を行った。
5 健康づくり	6	区内11地区部会において、区健康課やあんしんケアセンター、シニアリーダー等の関係団体と連携し、90か所できいきサロンが開催され、健康づくりや介護予防に取り組んだ。 また、新型コロナウイルス感染症予防のため、グラウンドゴルフやラジオ体操等、屋外活動に変更するとともに、フレイル予防の講座を開催するなど、心身の健康づくりに取り組んだ。
6 防犯・防災に対する取組み	8	一部の町内自治会及び自主防災組織で防災訓練を実施したほか、避難所運営委員会が区地域振興課と協力して、避難所開設訓練を実施するなど、防災意識の向上に努めた。 また、毎年更新するエリア内の危険個所のマップを作成し、地域住民へ情報提供を行った。
7 担い手の拡大とボランティアの促進	9	いきいきサロン等の地域活動や町内自治会の広報を通じて、地域活動の担い手確保に取り組んだ。 また、各地区部会が主催ボランティア講座を23回開催し、ボランティア活動の啓発と育成に取り組んだ。
8 福祉教育・啓発	2	エリア内の小・中学校の児童・生徒に対し、いきいきサロンや行事等の地域活動を通じて、福祉に対する意識の醸成を図った。 また、高齢者等に関するテーマで講座を開催し、福祉に関する普及・啓発に取り組んだ。
9 地域のつながりづくり	23	90か所のいきいきサロン活動や17か所の子育てサロンで高齢者や子育て世代のつながりを作っているほか、小・中学校登下校時の声かけ挨拶運動や、行事等を通じて住民同士の交流を図るなど、地域のつながりづくりに取り組んだ。
10 相談支援体制と情報提供の充実	8	地区部会の広報誌や町内自治会の回覧等により、地域住民に対し情報提供を行ったほか、地域の行事やサロン活動などを通じて、相談支援体制の構築に取り組んだ。
今年度の振り返り	74	新型コロナウイルス感染症の影響により、いきいきサロンや敬老会等の実施に関しては慎重にならざるを得ず、休止や中止の活動もある中、コロナ禍においても活動できるよう、人数制限や屋外の活動に変更するなど、ニーズに沿った形で再開する地区部会も多く見られた。

今後の課題と方針	<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動に携わる人材の発掘と育成が急務となってきている。 新型コロナウイルス感染症の状況下において安全を確保しつつ交流と介護予防を図る方法を考えていく必要がある。 <p>(方針)</p> <p>これまでどおり、手指消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンス等の感染対策を取りながら、状況に応じた形で開催していきたい。</p>
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

開催日		主な議題等
令和3年度	第1回 8月5日 (木) (書面開催)	議題1 (承認事項) 委員長・副委員長・広報委員の選出について 議題2 (承認事項) 稲毛区支え合いのまち推進計画の推進状況 (H30~R2) 議題3 (依頼事項) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の策定について 他 議題4 (依頼事項) 稲毛区支え合いのまち推進計画 他
	第2回 10月27日 (水)	(報告事項) 令和3年度 第1回 稲毛区支え合いのまち推進協議会の書面開催結果について (議 題) 第5期稲毛区支え合いのまち推進計画の策定について

◆区の地域福祉に関する好事例等

<p>※ 記載については、下記1～3により、地域福祉専門分科会に報告する1～2事例をご紹介します。 (別添記載例を参考としつつ、枠内に収まらない場合は、A3裏面1枚の範囲で追加いただいても構いません。)</p> <p>1 地域での取組みのうち、下記のような事例</p> <p>2 コミュニティーソーシャルワーカー等の専門職が関わる支援の事例</p> <p>3 コロナ禍で活動を継続するために工夫している取組事例 (1) サロンの新規メニューとして、地区部会で「ポッチャ」の用具を購入し、地域住民の交流に取り組んだ。また、担い手の養成を目的としていきいきサロンのリーダー養成講座を実施した。 (小中台東地区部会) (2) コロナ禍でも交流が図れるよう地域内の公園(3か所)を会場として、ラジオ体操を実施した。 (緑・黒砂地区部会) (3) 「ふれあい食事サービス」が休止となったため、利用者へ絵手紙を配布し、その際に状況等を伺った。(緑・黒砂地区部会)</p>
--

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
小中台東地区部会エリア						
【人口・世帯数】 25,496人／11,559世帯	① あいさつから始まる地域との関わり	9	地区部会が近隣の小学校（小中台小・小中台南小・園生小・柏台小）と連携して、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台公民館において、優秀作品の掲示並びに表彰を行った。 また、各小学校で民生委員と青少年育成委員会が連携・協力して登下校時のあいさつ運動に取り組んだ。	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
【町内自治会数】 34町内自治会						
【高齢化率】 28.1%						
【地域の特徴】 地区の方が「本村」と呼ぶ園生町（一部）をはじめ、小中台町、宮野木町（一部）は、昔は山と田畑が広がっていた。昭和50年代頃に宅地開発が進み、現在は村時代からの古い住民と、戸建て、マンション等に住む新しい住民が交わっている。エリア内に小中学校が存在していない。						
④ 地域住民の参加による見守り・支え合い						
⑥ 地域での福祉教育の普及・啓発	8	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。また、活動に利用する施設との再開に向けての調整について検討する。	地区部会が町内自治会と連携し、高齢者等に関するテーマ（SDGs、悪質商法、災害時のトラブル）で講座を開催し、福祉に関する普及・啓発に取り組んだ。	・新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅に閉じこもりがちな高齢者のフレイル予防。 ・子育て関連の事業（イベント、サロン、養成講座等）が開催できなかった。	・地域で安心して活動ができるよう、従事者・参加者の安全を第一に考え、コロナ禍でも取り組める内容やその方法について地区内の福祉事業者との連携も含めて検討を重ね、実施していきたい。 また、健康づくりや介護予防に関する活動のため会場を増やすことも含めて検討し、情報の収集・共有を積極的に行い、活動に取り組んでいきたい。	
⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会があんしんケアセンターや区健康課等と連携・協力し、高齢者に対していきいきサロン（7/12か所 43回）を行ったほか、ポッチャの体験会を2会場で開催するなどし、健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んだ。				
⑨ 地域の情報の収集と発信	10	地区部会が町内自治会や民生委員等、地域の活動に関する情報を共有するとともに、広報紙（3回/年発行）等で情報の発信に取り組んだ。 また、地区部会が町内自治会と連携し、高齢者等に関するテーマで情報交換会を開催するなど、情報収集などに取り組んだ。				

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
稲毛地区部会エリア						
【人口・世帯数】 12,189人／5,664世帯	① あいさつから始まる地域との関わり ② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流 ③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力 ④ 地域住民の参加による見守り・支え合い ⑤ 福祉活動の中核となれる人材の発掘・育成 ⑥ 地域での福祉教育の普及・啓発 ⑦ 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	9		町内自治会や学校、セーフティウォッチャーなどが連携・協力し、稲毛小の登校時の児童へのあいさつや、町内自治会が防犯パトロールの際に、住民への声掛けをおこなうなど、あいさつ運動に取り組んだ。 また、交通安全運動（春・夏）の期間中に青少年育成委員会が声掛け・挨拶運動に取り組んだ。		
【町内自治会数】 7（1）町内自治会		9		地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、民児協などが相互に連携・協力し、地域交流を目的としてグラウンドゴルフなど地域活動に取り組んだ。		
【高齢化率】 18.0%		9・10		地区部会や町内自治会、スポーツ振興会、民児協などが相互に連携・協力し、地域交流を目的としてグラウンドゴルフなど地域活動に取り組んだ。		
【地域の特徴】 JR稲毛駅前付近は高層大規模な集合住宅が林立し、若い世代が集中して、戸建て住民を牽引する形で地域意識が好い町作りの方向に変容しつつある。 集合住宅と戸建て住宅が混在する稲毛の台地で、快速の停車駅JR稲毛駅と、京成稲毛駅はバスの利用なしで行ける。 エリアは7つの自治会から成るが、JR稲毛駅至近に建つ1マンション区が小学校区は稲毛小、地区部会は小中台西エリアに属し、双方の地区部会活動に関わっている。		1・7		地区部会や町内自治会などが連携・協力し、一人暮らし高齢者等に対して、いきいきサロン（4/6か所 47回）を通じての声かけや町内自治会が民生委員と連携して、防犯パトロール等による住民主体の見守り活動に取り組んだ。	・地域の高齢化に伴い、新たな担い手の育成・確保に取り組む必要がある。 ・これまでどおり、手指消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンス等の感染対策を取りながら、状況に応じた形で開催していきたい。 ・町内自治会との意見交換・情報共有を積極的に行い、地域の活性化を図りたい。	
		7		地区部会や町内自治会、スポーツ振興会などと連携し、地域活動や町内自治会の広報等を通じて、地域活動の担い手確保に取り組んだ。		
		8		地区部会が小学校と連携して、敬老会などの地域行事への参加を呼びかけ、活動を通じて福祉教育の普及・啓発に取り組んだ。		
		2・3 4・9		地区部会が、町内自治会と連携・協力し、町内自治会館などにおいて、いきいきサロン（4/6か所 47回）を実施し、住民同士が気軽に集える居場所づくりに取り組んだ。 また、一部の町内自治会においてラジオ体操や花壇づくりなどを実施した。		

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
稲毛地区部会エリア	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組むとともに、複数の事業に関わりを持っているエリア内小学校とも協調した検討をしてゆく。	地区部会がスポーツ振興会や町内自治会やあんしんケアセンターと連携・協力し、いきいきサロン（4/6か所 47回）や自治会における早朝ラジオ体操を実施して、高齢者に対する健康づくりや介護予防に取り組んだ。	・地域の高齢化に伴い、新たな担い手の育成・確保に取り組む必要がある。 ・コロナ禍で多くの活動が休止してしまい、ボランティアのモチベーションをどのように維持していくか。	・町内自治会、民児協、あんしんケアセンター等の関係団体と連携して、活動の精査を行い、地域に必要な活動に取り組んでいきたい。 ・これまでどおり、手指消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンス等の感染対策を取りながら、状況に応じた形で開催していきたい。 ・町内自治会との意見交換・情報共有を積極的に行い、地域の活性化を図りたい。
	⑨ 地域の情報の収集と発信	10		地区部会が町内自治会、民児協と連携協力して常任理事会等の会議に参加し情報共有を行うとともに、地域住民に対して、地区部会だより（1回発行）や町内自治会の広報紙などにより、地域活動の情報発信に取り組んだ。		
	⑩ 身近な地域の相談相手の確保	10		地区部会が町内自治会や民児協、あんしんケアセンター、行政と連携し、活動を通じて地域住民と顔見知りの関係を築き、身近な相談相手となる関係づくりに努めた。		
	⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6		一部の町内自治会において、千葉市や消防と連携協力し、地域住民を対象とした防災訓練を実施するとともに、避難所運営委員会が稲丘小学校で避難所開設訓練を実施するなど、住民一人ひとりの防災意識の向上に取り組んだ。		
	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	6		町内自治会が地域内の小・中学校（稲丘小、稲毛小、小中台南小、稲毛中）のPTAと連携し、毎年更新するエリア内の危険個所のマップを作成し、地域住民へ情報提供を行った。		

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績
千草台中学校地区部会エリア						
【人口・世帯数】 17,007人/4,676世帯	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績
【町内自治会数】 8町内自治会						
【高齢化率】 34.1%						
【地域の特徴】 2,000世帯から成る千草台団地を中心に、戸建て、マンション等がある全8自治会で構成されている。エリア内には千葉県総合スポーツセンター、千葉都市モノレールも走り、また京葉道路と国道で分断されているのも特徴的である。最近では萩台町の旧水田地帯に新築戸建の開発が進んでいる。前記の千草台団地の高齢化率は区内で3番目に高い47.6%である。						
	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9・10	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。	令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5		令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績
	⑩ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6		令和3年度の実績	令和3年度の実績	令和3年度の実績

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
草野地区部会エリア 【人口・世帯数】 21,438人／9,786世帯 【町内自治会数】 22町内自治会 【高齢化率】 28.2% 【地域の特徴】 京葉道路の一部、穴川インターチェンジの一部をエリアに含み、概ねエリアの中央を走る国道16号線を境に東西へまたがっている昔は山だらけだったという地域には古くからの戸建て、アパート群の中に新設のマンションが建設され、新旧住民が混在している。 エリア内で一番世帯数の多いあやめ台団地については、昭和41年の入居開始から56年が経過、約半世紀を経た今、稲毛区内で5番目の高齢化率(45.4%)、住民の半数近くが高齢者となっている。高齢者（高齢化・孤立死等）と子育て（低所得・家庭崩壊等）の2つが顕著な問題である。	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。	一部の町内自治会がスポーツ振興会や青少年育成委員会、子ども会と連携・協力し、夕涼み会、ラジオ体操、防災訓練などを継続して企画実施し、幅広い世代が参加交流できる場づくりに取り組んだ。	・担い手の高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響により、士気が低下し地域活動に対して消極的になっている。 ・認知症高齢者や様々なハンディキャップを抱えた方が増加し、問題・課題が複雑になってきている。 ・若い世代が地域活動に対する関心が無いため、新たな担い手確保に向けた働きかけを行う必要がある。	・個人の特技を登録制にして、支え合いやサロン活動の担い手として地域活動に活用していきたい。
④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1・7	町内自治会や民児協、URなどが連携・協力し、町内自治会の会合等で見守りに対する啓発活動を行うなど、地域住民による見守り活動に取り組んだ。 また、いきいきサロン参加者への呼びかけや民生委員によるあんしんカードの配布等を行うなど、高齢者への見守りに取り組んだ。				
⑦ 公共施設や空き店舗などを活用した身近な居場所づくり	2・3 4・9	地区部会が町内自治会や民児協などと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（8/12か所 16回）や子育て中の親子を対象とした対して子育てサロン（1/2か所 8回）を継続して実施するなど、身近な居場所づくりに取り組んだ。				
⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5	地区部会が町内自治会や民児協、区健康課やあんしんケアセンターなどと連携・協力し、高齢者等に対していきいきサロン（8/12か所 16回）や散歩クラブ（3/3か所 34回）を継続して実施するとともに、一部のエリアで健康測定会や認知症サポーター養成講座などを実施して健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んだ。				
⑪ いざというときに必要な情報把握や防災講座等の開催	6	一部の町内自治会（自主防災会）が地域住民に対して防災・避難訓練や回覧で新規の希望者を募り要支援者の名簿作成を行い、住民一人ひとりの災害時に備えた意識の向上に取り組んだ。 また、避難所運営委員会が区地域振興課と協力して、避難所開設訓練を実施するなど、防災意識の向上に努めた。				

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性	
緑が丘地区部会エリア	① あいさつから始まる地域との関わり	9	令和3年度の取組みの方向性	町内自治会や老人会による地域の防犯パトロールや、セーフティウォッチャーによる宮野木小の登下校時の声掛けなど、地域内のあいさつ運動に取り組んだ。			
【人口・世帯数】 16,783人／7,991世帯				地区部会をはじめ町内自治会や民児協、青少年育成委員会、スポーツ振興会と相互に連携・協力して、緑ンピック等のイベントや、民児協と子どもルームが行う交流会、防犯活動などの地域活動に取り組んだ。 また、福祉活動推進員を増員するなど、これからの地域福祉を担う人材の確保に努めた。			・地域活動を計画に沿って推進していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い活動内容を大幅に縮小せざるを得ず、特に高齢者の健康面で不安を訴える声が聞かれた。
【町内自治会数】 27町内自治会				一部の町内自治会において、単身・高齢者世帯に対しゴミ出し・見守り支援を行うなど、住民同士の支え合い活動に取り組んだ。			
【高齢化率】 33.3%	③ 地域で活動している人・組織同士の連携・協力	9・10	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。		・感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大していきたい。		
【地域の特徴】 柏台、長沼町の一部、宮野木町の一部、園生町の一部、あやめ台の一部をエリアとしている。あやめ台団地内の一街区、二街区はあやめ台小学区、三街区は柏台小学校区と、団地内で学区が分かれている。町がつく場所には古くからの住民と、最近立ち始めた戸建て等に転入してくる新しい方とが融合している。				④ 地域住民の参加による見守り・支え合い		1・7	

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
緑・黒砂地区部会エリア						
【人口・世帯数】 9,095人／4,894世帯	① あいさつから始まる地域との関わり	9		町内自治会や学校（PTA）が連携し、一定期間に、通学路や学校周辺であいさつ運動を行うとともに、見守り隊によるあいさつ（声掛け）や、月1回、学校からのお知らせを自治会回覧で配布するなど、子どもから大人までが顔なじみになるよう、継続的にあいさつ運動へ取り組んだ。		
【町内自治会数】 7町内自治会						
【高齢化率】 22.6%						
【地域の特徴】 JR線を境に、南に走る国道357号線までの緑町、黒砂、黒砂台1丁目～2丁目エリアとし、中心を京成線が東西に走っている。文教施設があり、または隣接していることもあり、日中の学生数、またエリアにも学生が点在し居住しているのも特徴である。						
	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。	新型コロナウイルス感染症の影響により地域交流・多世代交流を目的とした「納涼祭」や「社協まつり」等の行事は中止。地区部会が町内自治会や民生委員等の関係団体と問題・課題の検証を行い、今後の実施方法等について検討を行った。 また、子育て中の親子の交流を目的を対象とした、子育てサロン（1/1か所 4回）を実施した他、子育てサークルの交流会や情報交換会等の活動に対しバックアップを行った。	・新型コロナウイルス感染症の自粛期間中に外出の機会が減ったことで、参加者のモチベーションが低下。体調を崩したり介護が必要になったりして来られなくなった方が多数出ている。	・状況に応じて活動内容の変更や規模を縮小するなど、実施できることから行っていく。 ・健康づくり、介護予防を重視した活動を行う。 （秋頃からシニアリーダー体操を自治会で実施）
	⑧ 健康づくりや介護予防の普及・啓発	5		地区部会が主催の高齢者を対象としたいきいきサロン（1/3か所 3回）やパーソナルカラー講座（心の健康講座）、地域内の公園（3か所）でラジオ体操を開催することにより、心身の健康づくりや介護予防の普及・啓発に取り組んだ。		
	⑫ 地域住民を地域で守る取り組み	6		民生委員活動を通じて、高齢者等に対し声かけによる安否確認を行った。 また、一部の町内自治会が、週2回の防犯パトロールや「無事ですタオル」を配布するなど、見守り活動に継続して取り組むとともに、「防犯ステッカー」を防犯活動協力者の自転車に掲示するなどして、地域内の防犯活動に取り組んだ。		

稲毛区支え合いのまち推進計画に準じた取組状況（令和3年度）個票

【取組みテーマ】 1 見守りの仕組みづくり 2 高齢者を支える仕組みづくり 3 障害者を支える仕組みづくり
 4 こどもと子育てを支援する仕組みづくり 5 健康づくり 6 防犯・防災に対する取組み
 7 担い手の拡大とボランティアの促進 8 福祉教育・啓発 9 地域のつながりづくり
 10 相談支援体制と情報提供の充実

地区部会エリア	重点取組項目	取組みテーマ	令和3年度の取組みの方向性	令和3年度の実績	令和3年度の取組みにおいて困難だった点・今後の課題	令和4年度の取組みの方向性
小中台西地区部会エリア	① あいさつから始まる地域との関わり	9	令和3年度の取組みの方向性	地区部会が近隣の小学校（小中台小・小中台南小・園生小・柏台小）と連携して、あいさつをテーマにした標語作品を募集し、小中台公民館において、優秀作品の掲示並びに表彰を行うとともに、あいさつ運動のステッカーを町内自治会へ配布するなど、あいさつ運動の普及・啓発に取り組んだ。 また、町内自治会やセーフティウォッチャーへと連携して、防犯パトロールを兼ねたあいさつ・声かけ運動や登下校時のあいさつ運動に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の確保が難しいため活動内容の検討や新たな会場の確保に取り組む必要がある。 ・利用者はサロン等の再開を望んでいるが、ボランティアの中で再開に関して意見が分かれている。 ・オンラインを利用した活動を展開していきたいが、できる・できないの差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでどおり、手指消毒やマスクの着用、ソーシャルディスタンス等の感染対策を取りながら、状況に応じた形で開催していきたい。 ・年度内に地域内で見守り活動に関する勉強会（意見交換会）を開催したい。
【人口・世帯数】 21,323人／9,947世帯				地域交流・多世代交流を目的とした「小中台東西社協まつり」やその他のイベントが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる中、地区部会が町内自治会や民生委員等の関係団体と問題・課題の検証を行い、今後の実施方法等について検討を行った。		
【町内自治会数】 27町内自治会				7町内自治会が一人暮らし高齢者に対して防犯パトロールや電話等による安否確認の見守りに継続的に取り組んだ他、地区部会が町内自治会や民児協と連携・協力し、いきいきサロン（7/12か所 18回）の活動を介して高齢者等の見守りに取り組んだ。 また、一部の自治会で平常時のほか、災害時など緊急時の見守りとの2パターンを想定した見守り活動に取り組んだ。		
【高齢化率】 23.3%	② 地域のイベントなどを通じての地域交流・多世代交流	9	新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、感染予防を第一にしたうえで活動を再開・拡大してゆく。 特に昨年度に関わりを持つことが困難だった高齢者の健康面に留意して取り組む。 また、活動従事者同士の会合などをオンライン化する試みも検討してゆく。			
【地域の特徴】 小中台1丁目から9丁目までがエリアであり、昔からの旧戸建て住宅の旧住民と、新設の大型マンションに転入して暮らす新住民とが混在している。			④ 地域住民の参加による見守り・支え合い	1・7		